



Associação Crianças de LUZ

CANOVA

だより73 January 2024

文・写真_鈴木真由美 編集_星久美子・真野由紀 発行_光の子どもの会の会
Praia do Estevão s/n, Canoa Quebrada, Aracati-CE-Brasil CEP:62800-000
連絡先: info@criancasdeluz.org

2024年となった新年早々、「令和6年能登半島地震」が起こり、未だ多くの方が行方不明であったり、ご不便な生活を強いられています。また、羽田空港においては、航空機事故が起こるなど、心痛める事柄が続いて起こりました。自分には何ができるのだろうかと考えながら、日々過ごしています。“今、私ができること。”私達一人ひとりが、どんな小さなことでも、できることを行うことで、少しでも多くの方が温かい気持ちとなることを心から願っております。

ブラジルのカノア保育園及び学童教室においても、2024年は大きな転換の年となります。私たちがカノア保育園を設立してから24年。エヴァさんと私はいつも、自分たちが離れても、必要であればこの活動が続いていけるようにと考えてきました。しかし、人材育成とは難しいもので、「この人だ!」と思っても、その人が私たちとずっと一緒に働いてくれるとは限りません。コロナ禍には資金難となり、日本からのみならず、ブラジル国内外からの支援が滞るといった事態が起こり、今後の活動方針を再編成する必要が出てきました。そして何度も話し合いを続ける中で、カノア保育園及び学童教室の運営及び管理を、全て現地法人「Associação Crianças de LUZ」に任せる決意をしました。2022年から丸2年。そのためのキャンペーンやプロジェクトの立案をカノア保育園卒園生のイザベルとヴィヴィアーニが中心となり、行ってきました。正直、現地職員に運営及び管理ができるのかといわれれば、「NO」と答えるしかありません。それでも、彼女たちの意思を尊重し、私たち「光の子どもの会の会ブラジル事務局」は、サポーターへと専念することとなりました。

毎月の定例会議や、市政府及び公認会計士とのやり取りなど、まだまだ共に進めていくことも多くあるのですが、まずは、今年1年、一番の応援団として、そばで見守っていきます。

日本からの支援は引き続き実施していく予定ですので、皆様からのご支援、ご協力、どうぞよろしくお願いいたします!!!

※カノア保育園創設者のエヴァさんは、2024年2月～3月末まで、サポートのため現地入りする予定です。

お知らせ

① SDGs多文化CITYフォーラム2024に参加します！

今回は、光の子どもたちの会と横浜隼人高校国際語科1年が共同で実施するプロジェクトについて、プロジェクト責任者である、鈴木真琳（高校1年生）が発表します。

お誘いあわせの上、一人でも多くの皆様にご参加いただけることを心より願っております。

日時：2024年2月17日（土）19時

場所：帆船日本丸・横浜みなと博物館 1F会議室

テーマ：日本とブラジルの青少年交流から作り出す、10代の若者たちの居場所づくり

パンデミック以降、10代の若者たちの不安症やうつ病が増加していることを受け、日本とブラジルの若者同士が共に学び合い、集える場所を作ることが目的とし、若者たち自らがその居場所を作り、持続的な場所とすることを目指していきます。



こんにちは。横浜隼人高校国際語科1年の鈴木真琳です。
私が生まれ育ったブラジル北東部の小さな漁村、エステーヴァン村と横浜隼人高校の生徒との国際交流プロジェクトを立ち上げました。
エステーヴァン村の若者と横浜隼人高校の国際語科1年生で、決められたひとつのテーマに沿って考えながら1つの作品を描いていく中で、お互いの国の文化などを知っていくということを目的としています。普通の紙に絵を描くのではなく、エステーヴァン村の漁師が漁船として使っている伝統的な帆船(ジャンガーダ)の帆に絵を描いていきます。完成したものは、エステーヴァン村の漁師さんにプレゼントし、漁業に役立てていただきたいと思います。この活動を通して、2つの国の文化の違いやテーマに対する考え方の違いなどを知る機会になったらいいなと思っています。

② 2023年度光の子どもたちの会総会を開催します！

2023年度の総会を、2024年3月（日時未定、場所：JICA横浜 会議室）に予定しております。

今回は日本とブラジルの教員交流や高校生とのコラボプロジェクトの立ち上げと、楽しい報告がたくさんあります。

それと同時に、カノア保育園及び学童教室の現状について、皆様にも直接お知らせしたいと考えております。

後日詳細日時を記載したはがきを郵送予定ですので、お誘いあわせの上、ぜひご参加いただけると幸いです。

カノア保育園 の先生紹介

Colay Santos (コライ)

こんにちは。私はコライといいます。カノア保育園で教員として働いています。カノア保育園で教員として働くこととなり、私は大学の教育学部で学ぶ機会を得ることができました。そして、2023年7月、無事に卒業することができました。

カノア保育園の教員として働いている今、私の人生は大きく変化しました。そのことに心から感謝しています。そしてそれは間接的ではありますが、他の子ども達の人生をよりよくすることにつながっていると思っています。大学で学ぶという機会を得たことで、私は人生における大きなチャンスをもたらすことができました。私の人生もよりよくなり、これまでのカノア保育園の教員の人生変化が、この地域の他の人たちのお手本のようになっています。なぜなら、私たちはみんな、この村で生まれ育った人であり、だからこそ、10代の若者たちは、勉強を続けていけば、仕事のチャンスも広がるのではないかと感じてくれているのではないかと思います。



大学を卒業し、自分がやりたいと思っていた分野で仕事に就くことができたことは、本当に嬉しいです。今日、この場を借りて皆さんに感謝の気持ちを伝えることができたことは、私にとってとても大切なことでした。私はいつもカノア保育園の活動に尊敬の念を感じており、教員になる前にも、ボランティアとして、園児の母親として関わっていました。これからも教育の分野で活躍し、私の時間と知識を生かしていくことを願っています。

これからもどうぞ、よろしくお願いします♥

2023年6月をもって退職した
マリエッタより
皆様にメッセージが届きました。

Marieta Batista da Silva

(マリエッタ・バチスタ・ダ・シウバ)

皆さんに感謝を込めて

まず、私が生まれ育った村で暮らす家族や子ども達にとってとても大切な、Crianças de LUZ のプロジェクトに参加し、仕事をさせて頂けたことに、感謝いたします。

私に大学に行く機会を与えてくれ、教育学を修めるために支えてくれた、友達、支えてくれたすべての人たち、特に、学費支援として私の学びを支えてくれた日本の皆様、本当にありがとうございました。

カノア保育園で働かせていただいた間、私は、責任、理解、他者への共感を学ぶことができました。これらの学びは、私自身がよりよい人間となるためのメタモルフォーゼとなりました。

私が今の自分となれたこと、そのために支えてくださった多くの皆様に、ありがとうございました！！あなた達は本当に素晴らしい人たちです！！



子育て日記より

二女はくるくる巻き毛の女の子。本当にかわいくて、ただ、その髪の手入れの仕方が分からなくて、奮闘し続け15年。そんな彼女が高校生となり、ある日突然、「縮毛をかける！」と宣言しました。私は賛成することができず、毎日のように幼き頃の可愛い巻き毛の写真を送り続けていたのですが、その奮闘むなしく、現在娘の髪はストレートに…確かにそれでも可愛い（親バカです）。でも、でも、いつかまた、くるくる巻き毛に戻してくれるかな？と期待しつつ、思春期真っ只中の娘と過ごしています。

国内活動＊Atividade no Japão

●秦野市教育委員会の教員2名がブラジルへ！ ～JICA草の根技術協力事業

2022年12月より開始された、「JICA草の根技術協力事業」。今回の事業では、本邦研修として、ブラジル国セアラ州アラカチ市の教員2名が、神奈川県秦野市にて研修をすることが大きな目玉の1つでした。アルテミージアさん（アラカチ市教育局教育部長）、ニウデーニさん（アラカチ市教育局研修担当）の2名を迎え、2023年5月17日～6月1日まで（日本滞在は5月19～30日まで）、本邦研修が実施されました。それを受け、今度は神奈川県秦野市教育委員会の教員2名を、1月28日～2月8日まで、ブラジル国セアラ州アラカチ市に派遣することとなりました。

ブラジル人教員2名が日本で学んだことを、どのようにアラカチ市内の公立小中学校に取り入れようとしているのか。それを実際に見るための現地視察だけでなく、私たちの事業の根本である、「ライフスキル教育」を社会情緒（Social Emotion Learning）として2023年度よりカリキュラムに取り入れたことを考慮し、秦野市での経験を講義していただきます。あわせて、授業の質を担保していくための教員研修についても、講義としてだけではなく、共に作り上げていく予定です。派遣の様子については、また次号で報告させていただきますね。

ブラジルから教育関係者2人が
視察に来秦
小学校や高橋市長を訪問



国内活動＊Atividade no Japão

●秦野市の外国につながる未就学事業 ～かながわ民際協力基金

秦野市役所子育て総務課とともに、まずは異文化交流から始めていこうと動き出し、2023年11月28日に子育て支援センターぽけっと21すえひろにて、「ポルトガル語で遊ぼう！」と題してイベントを実施しました。

残念ながら外国につながる子どもやその家族はいらっしゃらず、日本人親子が10組ほど参加してくださったのですが、どこまで、どのように行えばよいのかという迷いが頭をよぎり、皆さんに楽しめて頂けたのか？と、反省しかない1日となってしまいました…

現役保育士としても恥ずかしい限りです。

そして、この事業を秦野市内でどのように実施していくべきかと考えていく中で、東海大学児童教育学部の先生方とお会いする機会がありました。まだどのような活動を行えるのか分かりませんが、少しずつ、外国につながる秦野市内の未就学児とその保護者に対する活動につなげていくことができると考えています。

皆さん、楽しみにしていてくださいね。

●ブラジル料理教室を開催しました

9月10日 ブラジルプーチン料理教室

2023年夏の料理教室。

「ブラジルプリン」がとうとうコンビニにも登場するようになりましたが、そのプリン人気の立役者である中津雄春さんが講師をしてくださいました！大人気のプーチンを中津さんが直々に教えてくださるとあって、当日は満員御礼。初参加の方もいらっしやり、いつもとはまた違った雰囲気の料理教室となりました。

参加者に一番好評だったものは、、、追いカラメルソース！この作り方で惜しみなく教えてくださる中津さんだからこそ、このプリン人気があるのだなと、つくづく感じました。

講師の中津さん、ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

(梅本 祥子)



中津さんの指導に
真剣にメモをとる参加者の皆さん！



●小学校や幼稚園でブラジルとリモート交流

JICAの日系社会青年ボランティアとしてカノアに派遣され、保育園と学童教室でお手伝いをしていた頃から10年が経ちました。現在は小学校で英語講師として勤務し、授業の中でブラジルの経験を話したり、ブラジルとZOOMで繋いだりしています。夜中でもいつでも大丈夫！といつもZOOMに入ってくれるのは、私から熱心に日本語を学んでいたカッシオです。カノアに住み続け、現在は英語教師となり、とても綺麗な英語で答えてくれます。

日本の生徒たちは習った英語でカッシオに質問します。「日本ではSwitchが流行ってますが、ブラジルでは何のゲームが人気ですか」「僕はX boxとプレステが好きです。Switch を持っている人はあまりいません」身近な話題になると「ええー！」という驚きが沸き、交流の一番楽しい瞬間です。

先日は、私の息子が通う幼稚園でブラジルの話をする機会がありましたが、園児の質問は予測不可能でとても面白かったです！事前にブラジルの生き物を勉強していた園児たちは「ワニを見たことがありますか」「オニオオハシを見たことがありますか」と最初は聞いていたのに話はいつのまにかペットの話へ…。「ペットを飼ってますか」「今どこにいますか」「ペットのおもちゃはありますか」カッシオは大笑いしながらも「今ブラジルは夜だからうちの猫は寝てるよ」と時差の説明と混じえて飼い猫の話をしてくれました。

またいつでも呼んで！と言ってくれる頼もしい元生徒に心から感謝しています。
Obrigada! (稲垣 由紀)



日本においても引き続き、日本国内におけるイベントや講演会及び報告会を積極的に実施していきたいと考えています。

イベントの参加や講師依頼などありましたら、
ぜひ、ご連絡ください！！

【問い合わせ先】

連絡先：光の子どもたちの会 日本事務局

FAX 045-594-5830

E-mail info@criancasdeluz.org

ありがとうございます＊Obrigado

2023年5月8日～2023年12月6日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

「#今できること」として、現地では「AMIGO DE CRIANÇAS DE LUZ」というキャンペーンを立ち上げ、ブラジル国内のみならず、ドイツを含めた国外に対して、1人でも多くの皆様にカノア保育園及び学童教室を支えて頂けるように努めています。

引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

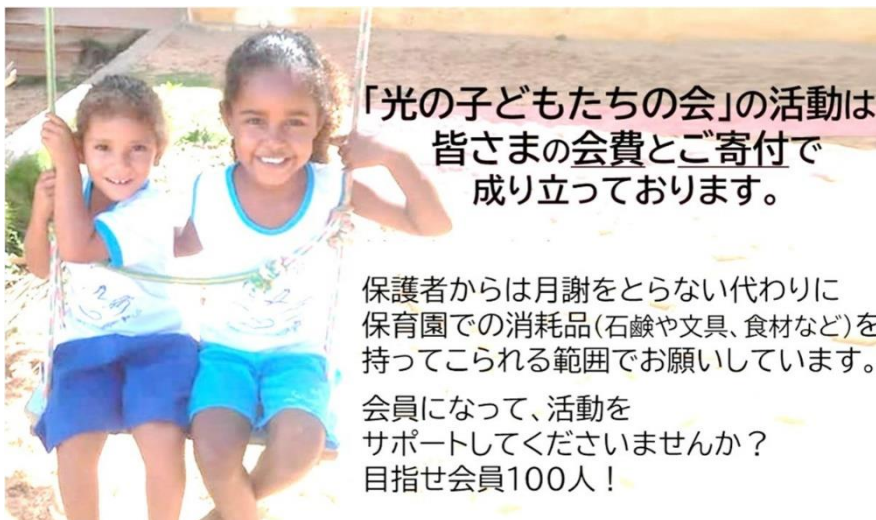
目標会員100名!!!

会費及び寄付を頂きました皆様(順不同)

赤澤千佳子 さま、石田泰三 さま、石田まどか さま、鵜沢聡明 さま、大川智子 さま、大谷タカコ さま、大庭富美香 さま、影島清恵 さま、金本りせ子 さま、川原翼 さま、桑山寛子 さま、瀧川佐和子 さま、トミタヨウコ さま、堀池ミツ子 さま、松丸綾乃 さま、山下万喜子 さま

物資支援を頂きました皆様(順不同)

Noriko Wada さま



<https://criancasdeluz.stores.jp/>

くわしくは
こちら!



年会費(5,000円)・ご寄付のお振込み方法

1. 自動引き落とし

お持ちの口座の金融機関で手続きができます。引き落とし日、金額をご指定いただけます。尚、ゆうちょ銀行からお振込の場合は以下の【2. 郵便振替】と同じ口座番号ですが、他金機関からの振込の場合には、【3. ゆうちょ銀行振込】の口座番号となりますのでご確認ください。

2. 郵便振替

口座番号 00280-1-41787

加入者 光の子どもたち・カノアの活動を支える会

3. ゆうちょ銀行振込

名義 光の子どもたちの会 店名 ○ニハ(ゼロニハチ)

店番号 928 普通 口座番号 5552594



<http://criancasdeluz.org/inicial/index.jp.html>

問い合わせ先:

代表 鈴木真由美 / 日本事務局 藤田枝美

〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町5338-23

FAX 045-594-5830 info@criancasdeluz.org